

ふるさとに学ぶ

校長 牧 健一

青い空に高く雲がたなびき、夜空には溢れんばかりの星が輝いています。北国の短い秋を感じる日々です。我らが布礼別っ子は、季節の移り変わりだけでなく、存分にふるさと布礼別（富良野）を感じ、そこから学ぶ日々を過ごしています。自然体験学習・布礼別神社祭・ラフティング体験などなど、布礼別だから、富良野だから、北海道だからこそできる学びを深め、それを発信する準備を進めているところです。

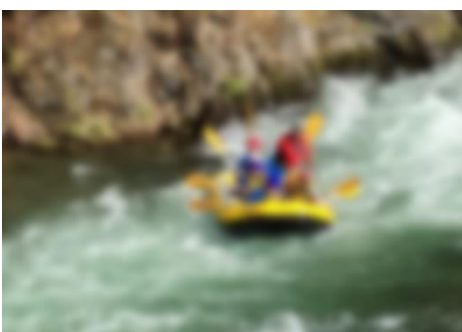
布礼別神社祭り（男山八幡神社）を、地域の皆様としっかりとタッグを組み取組を進めました。2年ぶりに担ぐ子供神輿は重たかったようですが、地域の集会所をまわり、各地各地で神輿ひねりを披露し、大変喜んでいただきました。子供たちも、それぞれに祭りをやりきった実感を強く持ったようです。

私個人の回想ですが・・・この男山八幡神社の大元の社は京都にあり、私の小学4年生の遠足の地でした。4年生の私には全く興味が無かったのですが、ひと山全部に孟宗竹（タケノコの親）が生えている高さ400m位の山の上にお社がありました。男山の名の通り、昔は男の人しか入れなかった山であり、発明王エジソンがこの山の竹を使って、世界で初めて電球の光る部分を作ったと説明されました。旭川の酒造「男山」も大元をたどれば、源義経などが戦いの神として奉じた、この男山八幡神社に由来します。布礼別にある小さなお社は、そんな1200年前の神社と歴史的に繋がっているのですね。

ふるさとに学ぶ（閉校に向けて思い出作り学習）で、保護者の皆様と一緒に、南富良野のシーソラブチ川でラフティング（筏下り）を行ってきてきました。滝になっているところに、ゴムボートが落ち込むともう大騒ぎです。ボートの中にしゃがまないと川に落ちます。水しぶきは波のようで、先頭に乗っている子供たちは全身ビショビショでした。「大人になってこんなに叫んだことはありません」とおっしゃった、ある保護者の言葉が印象的なほどに、大人も子供もみんな大いに叫んで楽しんでいました。

これも私の回想ですが・・・本州の人間にとって、ラフティングという遊びは、飛行機乗ってわざわざ北海道まで来て、一生に一回できるかどうかのとても貴重な体験です。我々は、そんな素晴らしい環境に生きているにも関わらず、地元なので行きませんね。やってみるとそれはそれは、楽しいのです。

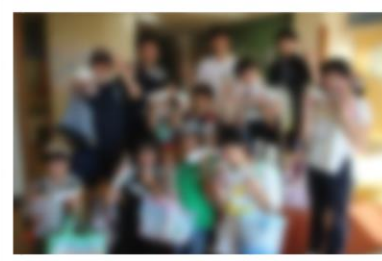
学芸会には、ペンネーム「布礼別の倉本聡」こと武藤教諭が、ふるさと布礼別を題材にした「水戸黄門（布礼別編）」を脚本し、もっか子供たちと劇を創りあげています。高学年は「未来づくりフォーラム」にむけて、ふるさと布礼別のよさを掘り起こし、これから皆様の元に取材（インタビュー）へ出かけます。残り半年となりましたが、その時間を有効に活用し、これからもふるさとに学ぶ学習を進めてまいります。今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。



教育実習【9月5～9日】

今年は3名の教育実習生（ 先生、 先生、 先生）が、布礼別小学校で実習を行いました。一週間充実した日々を過ごし、「先生になりたい。」という思いが、より大きくなったそうです。児童の皆さんとの素敵な出会いに感謝していました。

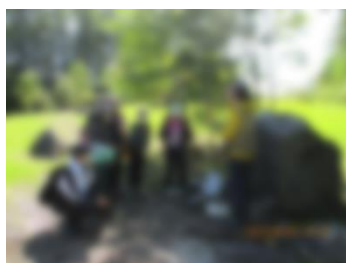
実習では、一週間、地域の集落センターを使わせていただきました。地域の皆様、保護者の皆様に、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。



自然塾【9月8日】

5・6年生は、富良野市の環境教育プログラムにより、「富良野自然塾」で体験活動を行いました。

大自然を、五感で感じる様々な体験活動を通して、地球環境について考えることができました。



MOA 美術館富良野児童作品展入賞

2人の児童の作品が入賞しました。作品は、10月15日（土）～16日（日）午前10時～午後5時（16日は4時まで）に、ネーブルふらので展示されます。

（絵画の部）ふらの農業協同組合賞 2年 さん

（書写の部）がんばりました賞 5年 さん

布礼別小学校のホームページです。
「沃野」はHPにも掲載しています。



10月の行事予定

3	月	全校朝会 観光トイレふりかえり集会
4	火	
5	水	午前授業
6	木	演目説明会 閉校事業協賛会役員会
7	金	係活動②
8	土	
9	日	
10	月	スポーツの日 富良野市文化センターオープン
11	火	
12	水	午前授業
13	木	学芸会総練習 第3回廃品回収
14	金	係活動③
15	土	学芸会
16	日	
17	月	振替休業
18	火	
19	水	音楽発表会
20	木	花壇・畑整備
21	金	4年社会科見学
24	月	コミュニケーション教育
28	金	第2回CS協議会
31	月	児童委員会